

応募の要件

整備提案できる方

次の要件をすべて満たすグループです。

- 次のいずれかに該当する横浜市内の住民等を3人以上含んでいること。
 1. 整備場所又はその近く※1にお住まいの方
 2. 整備場所又はその近く※1で事業を営んでいる方
 3. 整備場所又はその近く※1に土地や建物を所有している方
- 自らが主体となって整備を行う意欲があること。
- 事前に地権者等※2に整備提案の内容と本事業に応募することを説明していること。

※1「その近く」とは、整備予定場所が所在する町丁目とその町丁目に隣接した町丁目までとしています。

※2「地権者等」とは、土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権限を持つ者(会社や行政機関等を含む)です。

対象となる整備提案

次の要件をすべて満たす整備です。

- 住民等が持つ新しい発想、手法、地域の資源などを生かした取組で、その成果が地域まちづくりに寄与すると考えられること。
- 公共性があること。
- 住民等が主体となって実施できる範囲であること。

応募方法

- 受付期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)17時まで
- 提出書類 1次コンテスト応募申込書、第1次提案書ほか
※詳しくは「応募の手引き」でご確認ください。
- 提出方法 下記提出先に、「Eメール」「郵送」「窓口へ持参」によりご提出ください。
※郵送の場合、送付前に地域まちづくり課へご連絡ください。
- 提出先(担当窓口) 横浜市 都市整備局 地域まちづくり課 まち普請事業担当
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10(横浜市庁舎29階)
電話 045-671-2679 Eメール tb-seibiteian@city.yokohama.jp



支援内容

- 提案の実現性を高めるため、提案内容の整理や関係機関との協議・調整などを地域まちづくり課の職員が支援します。
- 1次コンテストを通過したグループには、活動費用(最大30万円)を交付します。
また、提案内容について専門的な見地からアドバイスをしてくれるまちづくりの専門家を紹介します。
- 2次コンテストを通過したグループには、整備費用(50万円～500万円)を交付します。

お問い合わせ先

横浜市都市整備局地域まちづくり課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL 045-671-2679 FAX 045-663-8641
MAIL tb-seibiteian@city.yokohama.jp



Webで検索

まち普請

検索



Facebookで検索

まち普請ひろば

検索



2023年3月

施設整備を伴う

身近なまちづくり提案 大募集

整備助成金
500万円
(最大)

市民主体のまちづくりで横浜市中期計画を推進!
コンテストの選考件数を拡充し、支援体制をパワーアップ!

まち
普請
子育てプラス

応募締め切り

令和5年
5月31日(水)まで



まち普請事業は、市民主体のまちづくりの支援を通じてSDGsの目標達成を目指す事業です。
SDGs推進に精力的に取り組む以下の企業の皆様からの応援をいただいています。

ウスイホーム

SDGs 推進のための取組

USUIGROUP
For your dreaming

環境に配慮した
長期にわたり
安心・安全に暮らせる
住まいの提供を実施します

詳細や
その他取組事例 ▶

ウスイホーム SDGs

ウスイホーム株式会社・神奈川県横浜須賀町2-2-3・TEL.046-833-7009・神奈川県知事(12)第10799号

株式会社リライト
RELIGHT

株式会社リライトは全国の困った空き家などの売買や地域貢献施設へのリニューアルなどを通じて地域貢献をしています。

2021年3月にはテレビ東京「ガイアの夜明け」でも放送されました。まち普請事業を活用して令和3年度に整備した「子供の丘みんなの家」もそのひとつで、家族食堂などの取組を応援しています。

株式会社リライト 横浜市神奈川区泉町14-9 TEL045-620-8659 神奈川県知事免許(2)第28478号



石井造園株式会社



グランコーヨー株式会社



平松造園



各企業の
HPリンクは
こちら
(横浜市HP)

まち普請事業とは？

市民の皆さんが主体となって行う、地域の課題解決や魅力アップのための施設整備を伴うまちづくりに対し、支援や助成を行う事業です。

まちづくりのアイデア検討やコンテストへの挑戦、住民の皆さんで協力して行う施設整備工事などを通じて、地域コミュニティが活性化することを目的としています。



ヨコハマ市民まち普請事業のホームページです。すべての整備事例を紹介しています。



横浜市中期計画 2022~2025 基本戦略

テーマ02 コミュニティ・生活環境づくり

外国人と子ども、そして地域の人々が集う居場所づくり
CASACO(西区)



テーマ04 まちの魅力・ブランド力向上

駅前遊歩道に花壇ベンチやプランター、階段アートで魅力づくり
中川駅前中央遊歩道(都筑区)



テーマ01 子育て世代への直接支援

孤立しがちな子育て中の母親たちの居場所づくり
こまち カフェ(戸塚区)



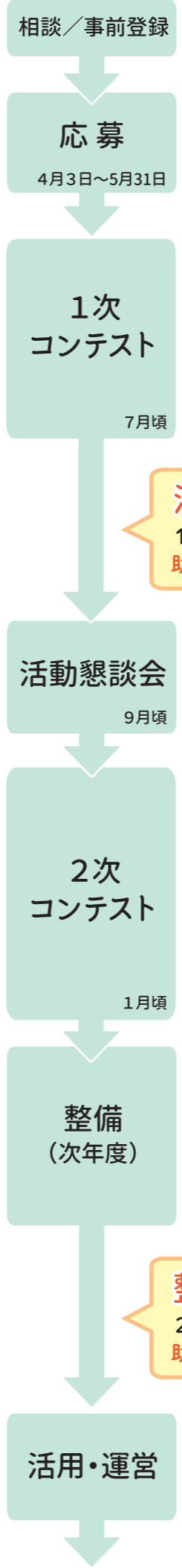
テーマ03 生産年齢人口流入による経済活性化

住宅が増えはじめた工業団地で、企業と住民の交流を促進
東山田工業団地に案内板、掲示板、会社マークを設置(都筑区)



テーマ05 都市の持続可能性

自然に還る素材で空き家を改修
井戸(水)と薪ストーブ(火)で防災拠点としても活躍
Co-coya(緑区)



提出した提案書をベースにコンテストの審査が行われるので、スタートが肝心です！
応募をお考えの方は提案書の作成前に地域まちづくり課にご相談・ご連絡ください！


ここからが夢のスタート

「応募申込書」と、地域で取り組んでみたい施設整備のアイデアをまとめた「提案書」を提出してください。

アイデアと熱意で勝負

審査員と一般参加者に向けて提案内容を説明していただきます。審査員との質疑応答を経て、公開投票により2次コンテストへ進む提案が選考されます。

審査基準 ①創意工夫 ②意欲 ③公共性



活動助成金

1次コンテストを通過すると、最大30万円の活動助成金を受け取ることができます。
助成対象は、まちづくりの専門家への謝金や活動の広報印刷費などです。


意見交換とアドバイス

計画づくりの段階で、審査員、まち普請事業の先輩と意見交換できる場です。
2次コンテスト通過に向けて、具体的なアドバイスを受けることができます。

熱意に加えて、より具体性を


検討を重ね磨きあげた提案を発表していただきます。審査員との質疑応答を経て、公開投票により助成対象となる提案が選考されます。

審査基準 ①創意工夫 ②実現性 ③公共性 ④費用対効果 ⑤地域まちづくりへの発展性



地域のみなさんで施設を整備

2次コンテストの通過後は、地域のみなさんと協力して施設整備を行います。地域のみなさんの手づくりあげることで、永く地域に愛される施設となります。



整備助成金

2次コンテストを通過すると、最大500万円の整備助成金を受け取ることができます。
助成対象は、設計費、工事費、活動費などです。

つくって終わりではありません。維持管理、活用・運営を通して、地域まちづくりの輪を広げていきましょう。
※整備成果報告会…整備した翌年度以降に整備成果の報告をしていただきます。